

おがまち日奈久ニュース

全議案「可決」される 令和3年度日奈久住民自治会定期総会【書面議決】

コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度日奈久住民自治会定期総会は、【書面議決】により、議決権を有する者40名のうち、行使書を提出した36名全員の『賛成』を以て可決されました。その議案は次の通りです。

- ◆第1号議案 令和2年度日奈久住民自治会事業報告
- ◆第2号議案 令和2年度日奈久住民自治会一般会計報告
- ◆第3号議案 令和2年度日奈久住民自治会基金決算書
- ◆第4号議案 令和2年度日奈久コミュニティセンター一部管理業務受託事業決算書
- 令和2年度特別会計津森小遭難の碑基金決算書
- 令和2年度会計監査報告
- ◆第5号議案 令和3年度日奈久住民自治会事業計画（案）
- ◆第6号議案 令和3年度日奈久住民自治会一般会計予算（案）
- ◆第7号議案 令和3年度日奈久コミュニティセンター一部管理業務受託事業予算（案）

※日奈久温泉駅のトイレの水洗化を住民自治会で要望できないかとのご意見がありました。令和3年度の事業計画と予算案は、別紙印刷して配布します。議決に携わられた皆さん、大変お疲れ様でした。

よろしく願います 日奈久小・中学校資源回収のお知らせ

日奈久小PTA会長 本田亮二
日奈久中PTA会長 谷口洋明
梅雨明けし、いよいよ本格的な夏がやってきました。校区民の皆様には日頃から日奈久小・中学校の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、毎年恒例となりました日奈久小・中学校合同資源回収を本年は次の通り実施します。
◆日時 8月22日（日）7時～8時
◆回収物
ビール瓶（大・中・小・2L瓶）、ビールケース、アルミ缶（潰さない）、新聞紙（広告紙が混ざっても良いです）。※1升瓶は集めません。
なお、回収は小・中学生やPTA会員が行います。この収益金は児童生徒の教材の充実に使用させていただきますが、現在小学



昨年度の資源回収

令和3年8月号
（第144号）
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
（6月末現在）
男 1129人
女 1371人
計 2500人
（前月比-8人）
（2009年末3444人）

「ありがとう」が
行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」
愛する日奈久に「ありがとう」
訪れる人に「ありがとう」

第22回「九月は日奈久で山頭火」 俳句、俳画・絵手紙を募集 あなたからの応募待っています

日奈久の活性化を願って始められた「九月は日奈久で山頭火」は、今年で22回目となりました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、俳句、俳画・絵手紙の募集と「おりや」の公開のみです。皆様からの応募をお待ちしています。

【俳句】
①題材 定型でも自由律でも可
②部門
◆一般の部 1組3句まで
◆ジュニアの部（小中学生） 一人2句まで（無料）
③応募方法
所定の応募用紙またはA4用紙に住所、氏名、電話番号を明記。

【俳画・絵手紙】
①俳画テーマ
「山頭火の俳句をもとにした俳画」
②絵手紙テーマ
「日奈久のこんなところがいいな」「ふるさと」「旅」「ありがとう」
③応募方法
官製はがきに作品を描き応募
【全ての作品の募集期間】
9月1日～9月30日
《送付先》〒869-1513
八代市日奈久中町5-16
日奈久ゆめ倉庫内
日奈久温泉観光案内所
TEL・FAX
0965（38）0267

津森小遭難の碑公園 住民の力で除草



多くの参加を得て進む除草作業

7月18日（日）早朝より、住民自治会生活環境部会を中心に、運営委員会、市政協力員会、婦人会、日奈久出張所とコミセン職員、地域有志約50名の参加を得て、津森小遭難の碑公園除草作業が行われました。長雨で伸びていた草はまたたく間に除草されました。

「地域学校協働活動」 地域と共にある 学校づくりが始まります

泉生活環境部長の「日奈久の皆さんの津森に対する思いが伝わりました」との言葉通り、たくさんの日奈久住民の参加がありました。参加された皆さん大変お疲れ様でした。

「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、民間企業など幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子ども達の学びや成長を支えるとともに、「地域と共にある学校づくり」を目標として、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動です。生涯学習課に協働活動本部が置かれており、来年度までに八代市全ての学校で展開されることとなります。

子ども達の成長のために、これまでのような登下校の見守り活動や読み聞かせなど、自分たちに「できること」を「できる範囲」で、「できる時」に実施していく活動です。このことで、子ども達から元気をもらい、地域の連携が深まるなど、双方の効果が期待されます。地域の皆様の得意なことや出来ることを日奈久の子ども達のために力をお貸しください。

この活動をスムーズに展開するために、地域と学校をつなぐ「地域コーディネーター」が配置されます。日奈久小・中学校では、山田健二氏（山下町）が、担当することになりました。この活動には、地域の皆様のご理解と積極的な協力体制が必要です。皆様のご協力をよろしく願います。

8月の行事から

8日（日）山の日
9日（月）振替休日
22日（日）小・中資源回収
23日～24日 中学校マースクール
25日（水）2学期始業式
29日（日）八代市長
市議会議員選挙投票日
期日前投票は、
8月23日～28日8:30～17:00

※8月11日は平日です
＝住民自治会関係会議等＝
13日（金）市政協力員例会
16日（月）運営委員会
20日（金）広報部会

松本寛三様（金波様）より、
7月2日に101歳でご逝去されたご母松本米子様の香典返しとして住民自治会へ寄付をいただきました。
ありがとうございました。

あなたの作品を展示します 「日奈久美術展」作品募集

◆会期 令和3年10月24日（日）～31日（日）（搬入10月23日）
◆会場 日奈久ゆめ倉庫

日奈久美術愛好会（会員24名、会長吉田幸一さん）は、「日奈久美術展」を今年より開催することになりました。コロナ禍で日奈久でのイベントの多くが中止または規模縮小に追い込まれていますが、明るい話題を作り出したと開催を決めました。ただし、コロナの感染状況によっては、中止することもあります。

○作品の領域
日本画（水墨画）、洋画（水彩画、デザインイラスト・CG）、工芸（竹工・木工・焼き物・ひょうたん・染色）、手芸（刺繍・パッチワーク・押し花・ちぎりの絵）、写真など、趣味で作られているもの
○作品の大きさ・材料 自由
○出品料 5000円
○出品資格
日奈久に住んでいる（住んでいた）人、日奈久出身者、日奈久で働く（働いていた）人で、高校生以上
○審査や賞はありません。
○会員以外の方は事前の申込み（連絡用）が必要です。
吉田幸一 ☎（38）1525 〆 9月20日

敬老会のお知らせ

今年の敬老会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「式典及び集い」は【中止】します。ご理解とご協力をお願いします。なお、お祝いの品は、婦人会員が、敬老会対象者（満77歳以上）を訪問してお届けします。

読者の広場

「安全安心な通学路に」
馬越町 西村謙剛
千葉県の小学生の交通死亡事故等に対し、心からご哀悼を祈ります。
昭和40年代、我が町内にも歩道がない通学路がありました。通学時間中に通る車の数は、1時間に600台ほどでした。私は交通係をしていて、一日も早く安全安心にしなければと思い、当時の甲斐校長先生と話し合い、坂田代議士にお願いし、2年後に歩道を設置すると連絡をいただきました。

町内では、日本で一番危険な道路と言っていました。何事も信念を持って対応すれば、人は動いてくれます。今日まで、一人の事故もなく生活できたことにに対し、心から感謝しています。一致協力してコロナに負けないようにしましょう。

住民自治会運営委から

7月15日（木）開催の運営委員会から、記事として扱っていない主な事項についてお伝えします。

○旅館組合
・チームI♥日奈久のメンバーが、憩いの広場の足湯の掃除を始めました。また、暑い日は、温泉ではなく、冷たい水を入れていきます。

○事務局
・JRAからの寄付物品の贈呈式は、7月中旬に実施予定です。

・JRA寄付金（丑の湯祭り、九月は日奈久で山頭火）の書類は、提出済みです。

・広報部が使用しているプリンターが老朽化し、新しいプリンターを購入します。

・日奈久温泉街地区の景観まちづくり検討委員会が、8月3日（火）に日奈久コミュニティセンターで開催されます。

ドルチェドリーム大収穫！ 雨の中トウモロコシ収穫体験祭賑わう

6月27日（日）恒例のトウモロコシ収穫体験祭が行われました。あいにくの雨にもかかわらず、大勢の参加者で賑わいました。日奈久住民自治会（株）アグリ日奈久共催、企画イベント部運営によるこの収穫祭も広く知れ渡り、盛況で喜ばしいことだと思います。

久保事務局長が、朝早くから何日もかけて圃場の草刈りをされたおかげで、天候の悪い中でもスムーズなドルチェドリームのもぎ取りが出来ました。やはり魅力はその安さ。6本500円は、半額セー



収穫を終えて大満足

ル以上のお買い得です。今年は去年の反省を踏まえて「監視員を配備します」と開始の挨拶で告示があり、目立ったルール違反者は見当たらなかったようです。参加者は200名以上で、頼まれて一人で何袋も購入される方も多く、やはり待ちに待った今日この日だったようです。熊本市から参加された家族は、「知り合いから連絡をもらい、この日を楽しみに来ました。子ども達も喜んでいいます」と笑顔でした。

今年は天候の関係で、一番なりしか収穫できず、「来年はもう少し面積を広げないといけないかな？」と臼石社長が話されました。

来年以降もこのイベントは続いて欲しいものです。なお、売上金の一部は、住民自治会へ寄付されました。7月4日（日）には、一人10本までの無料開放に約50人以上が参加しました。

「私の戦争体験」 日奈久中で金井昌康氏講話

7月15日（木）に日奈久中学校では、人権集会が行われました。今回は、下西町の金井昌康氏を講師に迎え、「私の戦争体験」と題し講話をしていただきました。

金井氏は、昭和10年生まれで、終戦時は小学校4年生だったそうです。まず戦時中の日奈久の様子について、夜中に爆弾投下があったことや戦闘機より機銃掃射を受けた経験などを交えて話されました。特に沖縄からの学童疎開については、当時日奈久小学校長だった池田正先生の著書を元に話されました。

当時日奈久小学校は千名の子とも達があり、沖縄から千名の子とも達が来たので、とても一度に授業ができず、午前と午後に分けて2部授業が行われたこと。食糧不足のために運動場は、からいも畑になったことなどを説明されました。そして学童



優しく語りかけられる金井昌康氏

陳開船の対馬丸の撃沈で多くの尊い命が失われたことを通して、戦争の悲惨さを伝えられました。

最後に金井氏は、「私は『バカ』という言葉が嫌いです。誰でも他の人になんか良いところを持っているからです」と語られました。戦争の体験によって、命の尊さを実感してこられたからの言葉だと感じました。

生徒代表の3年西崎七海さんは「これからも私たちは、戦争のない平和な世界を築いていくために、平和学習を深めていかなければいけないと思います」と感想を述べました。

日奈久 歴史散歩

寝ても起きてても三千石

尾藤金左衛門（馬越）の話（その1）

細川三代忠利公から三千石の禄（給与）をもらっていた尾藤金左衛門という重臣がいました。頭がよくて手先が器用だったので、大変重宝がられ、藩主の身のまわりの世話をするのが任務でした。

江戸城へお供したとき、控えの間で各大名のお供たちが自国の自慢話を始めました。加賀は百万石、島津は七十五万石、毛利は、黒田はと話が弾みましたが、「時に細川藩は何万石であったかのう」とバカにしたように問われ、金左衛門はとっさに「肥後は表高こそ五十四万石だが、土地も肥えており実高は百万石以上で、日本一でござるわい。」と煙に巻いてやりました。

ところがこの話が將軍に伝わり、將軍から問い正されて、困った忠利はとっさに笑い出し、「尾藤やつはバカでございますから、あの者の言葉はお取り上げになりませぬように」と申してほうほうの体で藩邸に帰る

と、尾藤に一部始終をたずねました。密告したのは隠密の仕業かと、それから尾藤は表面上は罷免され、わざとバカを装って日々を送ることになりました。

忠利の帰国と共に、尾藤も帰国し、ひたすら謹慎して忠利の沙汰を待ちました。忠利は、將軍にも尾藤はバカと知られているのを罰すると、尾藤の言ったことが本当だったと誤解されると思い、三千石の禄高はそのままだに、日奈久の馬越に蟄居（家に閉じこもることを命じました。尾藤は隠密の監視に注意しながら、いつもバカを装っていなければならませんでした。

こうして蟄居中も禄は三千石を拝領していたので、「寝ても起きてても三千石」と世間の人たちから言われていたそうです。

※本文は中原文敏著「日奈久の歴史」を参考にしました。

チーム「ラブひな」に支えられて走った聖火リレー 日奈久小・中で松本啓佑氏が出前授業

7月16日（金）に日奈久小学校で総合的な学習の時間の一環で、聖火ランナー松本啓佑氏（上西町）が、5・6年生22名に出前授業を行いました。会場にはラブひなのメンバーも駆けつけ、サポートしました。メンバーの一人、山下亜矢子氏の司会進行でスムーズに進みました。

日奈久の先輩として、聖火リレーのこと、「ラブひな」のこと、日奈久への思いなどをスライド等を活用し、詳しく語られました。松本氏は自分一人の力ではなく、ラブひなのメンバーの支えがあつて走れた聖火リレーであるという思いが強く、メンバーへの感謝の気持ちと日奈久への思いを心に天草の町を走った姿が写されると、子どもたちは目を輝かせて見ていました。



聖火リレーのグッズを紹介をする
松本啓佑氏

そして、「日奈久をどうにかしたい」「日奈久を一つに」との思いが



一人ずつトーチを手に記念写真

子ども達には、「日奈久の宝は君たちです。もっともって日奈久のことを知り好きになって、ラブひなのように日奈久を盛り上げて欲しい」と

6年生の冨永琥太郎さんは、お礼の言葉で「このままだったら日奈久の人口や観光客が減少して、日奈久の町がなくなってしまうかも知れません。将来大人になったら、自分のやりたいことと日奈久のために出来ることを両立してやっていきたいと思いました。そして、自分も『ラブひな』に入って、日奈久が観光客であふれる町にしたいと思いました」と力強く語りました。最後に一人ひとりの聖火リレーのトーチを抱え、写真に収まりました。

中学校は、19日に開催されました。

街角スナッフ



日奈久温泉駅には、みずほ保育園児達の製作した七夕飾りが風に揺れていました



上西町と中西町のいきいきサロンで初めて七夕飾りづくりに挑戦しました

とエールを送られました。「夢は見るとでなく、叶えるもの」「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉を贈り、友だちを大切にし、人に感謝していつて欲しいと伝えられました。